

## 令和5年度事業報告

### 事業の概要

令和5年度高島市シルバー人材センターの事業は、下記のとおりです。

	令和5年度	令和4年度	備 考
会 員 数	466 人	500 人	前年比 93.2%
就業実人員	376 人	416 人	派遣含)前年比 90.4%
就業延人員	30,630 人	33,461 人	派遣含)前年比 91.5%
就 業 率	80.7%	83.2%	前年比 97.0%
受託件数	2,921 件	3,352 件	派遣含)前年比 87.1%
受託契約金額	107,193,980 円	105,386,733 円	前年比 101.7%
労働者派遣額	30,611,094 円	39,623,498 円	前年比 77.3%
合 計	137,805,074 円	145,010,231 円	派遣含)前年比 95.0%

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染が収束した中ではありますが、予想以上に厳しい状況となりました。会員の感染は少なかったものの、新規入会会員の減少や就業実人員の減少が続いており、受託事業、労働者派遣事業ともに前年を下回り、当センターの存亡に係る状況となっています。

受託事業は一般企業が前年比 101.7%、労働者派遣事業が前年比 77.3%とコロナ過の3年前からは持ち直しているものの、昨年比-5%と、未だ業績が回復していない状況にあります。そのような厳しい中、受託事業で実施している「ふるさと納税」の返礼品としての生活支援サービス（草刈、剪定等）のリピーター依頼が定着しているものの、新たな顧客が増えておらず、積極的な営業活動も必要と考えます。

会員数は新規入会者 24 名、退会者 58 名と前年より 34 名も減少しました。突然の体調不良や持病の回復が認められない等により、加齢により退会をされる会員さまも多くなか、退会抑止策として「プラチナ会員制度」で確保に努めています。

全国的に 100 万人の会員を獲得する取り組みが実施されており、また、連合会挙げて会員増強を目指している中、減少を招いたことを猛省し、会員獲得のための新たな方策（働き方改革）を進めていかななくてはなりません。

また、昨年 10 月より始まったインボイス制度により、緩和措置が設けられているものの、支出経費が増大し、業績の回復、会員数の拡大は、センターの存続にかかわる重大な事象であり、センターの基本業務に立ち返り、新たな時代に即した取り組みが必需と考えています。

### 事業の詳細

## 1、 就業機会の確保および提供

- ・高島市からの受託事業である「ごみ減量作戦・出前講座」は委託事業として受託6年目となり高島市内の「区・自治会」に対する環境学習および街頭啓発に取り組ましました。  
令和5年度は、未だ、新型コロナウイルスの影響があり、地域での多集会となる環境学習会は、3自治会・2団体の出前講座に留まり、市内小学校の環境学習会と合わせても出役会員数述べ39人、73,700円の実績と低調でした。
- ・高島市より受託しています市営駅前駐車場の管理は、9年目に入り、利用者も慣れ、安定的な作業として会員の就業状況も良好となりました。
- ・高島市の「総合事業」である家事援助サービスは、利用者が減少していますものの、就業述べ人員392名 実績585,812円と定着してきました。
- ・派遣事業は新型コロナの影響で一般企業の生産縮小、福祉・医療機関のデイサービスの利用者制限等により、厳しい状況が続いています。流通業界等新規開拓による、会員就業機会の確保に継続して取り組んでいます。また、福祉関連の運転業務は会員の高齢化と、運転希望者が少なく就業人員の確保に苦慮している現状です。
- ・文化財調査(高島市教育委員会文化財課及び滋賀県文化スポーツ部財産保護課)については、出役延べ人数167人、実績1,196,049円と前年比が大幅減となりました。
- ・新規企業の取り組みもありましたが、派遣事業全体として大きく実績を伸ばすには至りませんでした。

## 2、 安全・適正就業対策推進事業

「危ないよ 言える勇気と 聞く心」を合言葉に取り組んでいます。

- ◆6月15日令和5年度安全・適正就業推進委員会開催。  
令和5年度安全・適正推進計画(安全大会)について
- ◆6月29日たかしま交通安全推進協議会主催「高齢者安全運転教室」  
認知機能検査の体験講習、実車による個別運転行動診断
- ◆8月29日安全大会を開催。(藤樹の里文化芸術会館)
  - ・高齢者の交通安全対策について(自転車のヘルメット着用)  
講師:高島警察署交通課 田中警部補
  - ・特殊詐欺について  
講師:高島警察署生活安全課 大橋警部
  - ・夏の屋外作業での注意について  
講師:高島市シルバー人材センター内部講師
- ◆9月22日グッドドライバー・レッスン(今津総合運動公園)  
ドライビング・ストレッチ訓練、サポカー体験
- ◆令和5年7月13日令和5年度安全就業推進委員会(連合会)

- ◆令和5年8月23日令和5年度県安全パトロール（剪定・除草作業：愛荘町）
- ◆令和5年8月31日令和5年度第1回安全・適正就業推進会議  
（滋賀県農業教育情報センター）
- ◆令和6年2月8日令和5年度安全就業指導者会議（オンライン会議）  
2月14日 //
- ◆令和6年2月26日 令和5年度第2回安全・適正就業推進会議  
（滋賀県危機管理センター）

### 3、独自事業の推進

独自事業は会員の自主性と能力を発揮し就業機会を確保することが目的で、今年度は3事業と会員拡大を目指して、会員拡大に努めました。

#### イ、刃物研ぎ事業

就業延人員 48名 実績 144,670円 前年比80.2%

#### ロ、特産品販売事業（道の駅）

就業延人員 57名 実績 70,417円 前年比37.4%

#### ハ、ハローワーク入会説明会説明員

就業延人員 11名 実績 21,380円

### 4、普及啓発活動

当センターの存在意義を高めるためには、積極的な活動、PRが必要であり市民の理解を得るため、下記の普及啓発活動を行いました。

- 当センターの活動内容を周知するため「シルバー高島」を年間2回発行 市民向け、会員を通じPRに努めました。
- 会員募集、就業拡大のため、新聞折込によるチラシ配布。13,800枚を2回実施しました。
- 入会説明会は、ハローワークにて「仕事説明会」と称して毎月第2木曜日に開催しました。聴講者20名、入会者10名  
旧町村6地域では、2カ月に一度ペースで開催し、のべ聴講者45名、入会者14名でした。
- 10月の第3水曜日は「シルバー環境美化の日」と定められていますが、本年は（令和5年10月18日）に県下一斉に清掃活動実施。当センターは6地区においてボランティア活動を実施。別紙事業実施状況のとおり122人の会員が参加しました。

### 5、福祉・家事援助サービス事業

介護保険法の改正に伴う「総合事業」の取り組みとして、5年目を迎え高島市訪問型サービスBの実績が利用者10件、就業会員5名、実績金額455,000円を計上することができました。現状新規の利用者が徐々に増加してお

り、今後さらなる取組のため、会員の増強が急務と思われま

す。派遣事業で実施している、社会福祉協議会及び市内福祉団体の福祉施設利用者の送迎も、既存会員が加齢に伴い交代等希望が多く運転希望者の入会が少ないため、確保に苦慮いたしました。

社会福祉協議会および個人から入院患者の洗濯業務の依頼も増加し、今後の福祉サービスの大切な位置づけとなり、女性会員の就業拡大につながる事業と考えます。女性会員拡大に苦慮している中、魅力ある情報発信ができなかったことが、会員獲得に至らなかったと考えます。

## 6、職業紹介事業

本年は、職業紹介事業としての実績ではありませんが、市選挙管理委員会からの期日前投票事務立会人の募集、市企画調整課よりの統計調査員の募集について、会報に同封し、約10名の就業を紹介させていただきました。

## 7、労働者派遣事業の推進

国の「高齢者・現役世代雇用サポート事業」は、労働者派遣により労働力不足の分野に注力することを目的とした事業で、流通業界、一般企業、福祉等各事業所で求められる職種に対し積極的就業機会の確保に努めました。

派遣先においても、景気回復が見込めない中、従来通りの就業に繋がらず、本年度業績が昨年度比75%に低迷したこともあり、将来を見据えた具体的な提案が出来ていなかったことを反省し、今後の活動に生かします。

## 8、公共団体等への事業参加

### ① 高島市「セーフティーたかしま」交通安全推進協議会事業

年に2回 春・秋の交通安全運動に合わせ安全出発式、幹事として会議出席、街頭啓発に参加する等高齢者の団体として期待を寄せられています。

また、11月26日に高島交通安全市民大会が開催され、当センターが安全運転功労団体の表彰を受けました。

### ② 2023 たかしま子どもフェスティバルに参加しました。(令和5年10月15日)

体験活動コーナーとして、竹馬・竹ぼっくりづくり・竹とんぼづくり・折り紙キーホルダーづくりを実施しました。

### ③ 滋賀県シルバー人材センター連合会の主催で子育てしえんフェスティバル

in 野洲が野洲市さざなみホールにおいて開催され、参加しました。(令和5年10月28日) 綿菓子の販売を始め、体験活動コーナーとして、竹馬・竹ぼっくりづくり・折り紙キーホルダーづくりと輪投げゲームを実施しました。